



**2022年3月期第3四半期
決算説明資料**

2022年1月28日
SGホールディングス株式会社

1.	2022年3月期 第3四半期決算概要	1～9
2.	2022年3月期 業績予想	10～13
3.	参考資料	14～19

2022年3月期第3四半期のハイライト

デリバリー事業では、通信販売の底堅い需要により、取扱個数・単価共にほぼ計画通りに推移。また、繁忙期において安定した品質と高い生産性で業務を遂行したことで、収益力が向上。ロジスティクス事業では、海上コンテナ需給のひっ迫が長期化しているなか、コンテナスペースを安定的に確保したことで、好調を維持。これらを主要因として、業績は堅調に推移。

● 業界関連

- 新たな生活様式の浸透により、eコマース等の通信販売の出荷は引き続き堅調に推移
- 世界的な海上コンテナ需給のひっ迫が長期化しており、海上・航空運賃の高止まりが継続
- 温室効果ガスの削減等、持続可能な社会の実現に向けた取組みの強化

● 当社業績の概況

- 宅配便は、ニューノーマルでの底堅い需要により、個数・単価共にほぼ計画通りに推移
- TMS⁽¹⁾に代表されるGOAL⁽²⁾によるソリューション営業が好調を維持
- コンテナ需給がひっ迫するなか、EXPOLANKA社⁽³⁾が海上・航空コンテナのスペースの確保に注力し、既存・新規顧客の旺盛な需要に対応
- 国際環境非営利団体CDPより、気候変動対応における世界の先進企業として、最高評価である「Aリスト」に日本国内の陸運業界で初めて選定

注記 (1) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (2) 「GOAL」はSGホールディングス株の登録商標 (3) EXPOLANKA HOLDINGS PLCは、スロヴァキア本社を置く当社の連結子会社

連結業績サマリー

(億円)	2021年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	前年同期比
営業収益	9,820	11,666	118.8%
営業利益 (営業利益率)	885 (9.0%)	1,148 (9.8%)	129.7%
経常利益	899	1,166	129.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	631	799	126.6%
EBITDA	1,077	1,376	127.8%

注記 億円未満は省略

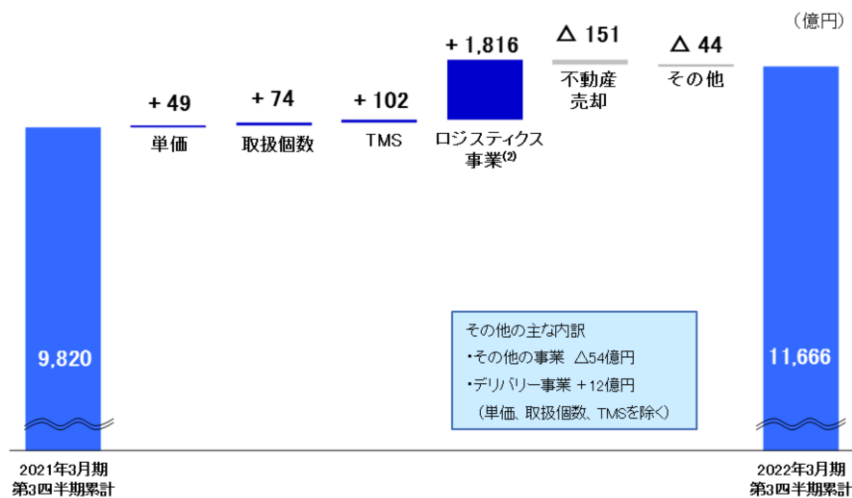
Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

■ 当社グループの業績（前年同期との比較）

- 営業収益 : + 1,846億円
- 営業利益 : + 262億円
- 経常利益 : + 266億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : + 168億円
- EBITDA : + 299億円

営業収益の増減分析



注記 (1)億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

■ 宅配便・TMSの実績（前年同期との比較）

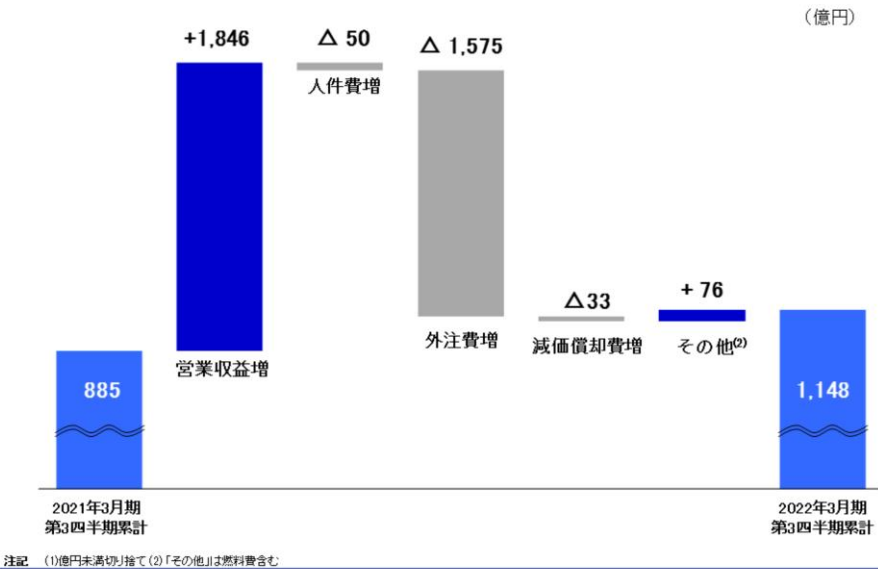
- 平均単価： 647円（+ 4円）
- 取扱個数： 1,074百万個（+ 11百万個）
- TMS： 796億円（+ 102億円）

（参考）稼働日前年増減： 平日±0、土曜日±0、日曜祝日±0

■ ロジスティクス事業（エクスポランカ社）の実績

- 航空貨物の重量：前年同期比 +60.5%
- 海上貨物のTEU：前年同期比 +64.2%

営業利益の増減分析



■ 主な費用の内訳

- 人件費 : 3,345億円 (前年同期比 101.5 %)
 - ロジスティクス事業増収に伴う増加
- 外注費 : 5,810億円 (前年同期比 137.2 %)
 - デリバリー事業・ロジスティクス事業増収に伴う増加
- 減価償却費 : 224億円 (前年同期比 117.3 %)
 - Xフロンティア等の減価償却費の増加
- その他 (燃料費含む) : 1,137億円 (前年同期比 93.7 %)
 - 不動産販売原価の減少

セグメント別業績

(億円)	2021年3月期 第3四半期累計	2022年3月期 第3四半期累計	前年同期比
営業収益 合計	9,820	11,666	118.8%
デリバリー事業	7,667	7,904	103.1%
ロジスティクス事業	1,448	3,266	225.5%
不動産事業	210	56	26.8%
その他の事業	493	438	88.9%
営業利益 合計	885	1,148	129.7%
デリバリー事業	632	746	118.1%
ロジスティクス事業	100	311	309.3%
不動産事業	107	34	32.4%
その他の事業	28	35	123.1%
調整額	16	20	122.9%

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

■ 主な営業利益の増減の内訳（前年同期との比較）

- デリバリー事業 : + 114億円
 - 宅配便の単価上昇、TMSの増加、一時金の減少
- ロジスティクス事業 : + 210億円
 - エクスプランカ社 : +204億円
- 不動産事業 : △ 72億円
 - 当連結会計年度では第4四半期に不動産売却を予定
- その他の事業 : + 6億円

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- BtoBの取扱個数は、ほぼ前年並み
- BtoCの取扱個数は、通信販売の利用者が拡大したことで、堅調に推移
- 平均単価は、相対的に小型の荷物が増加するなか、適正運賃收受の取組みを継続し微増
- GOAL[®]による提案営業の成果として、TMSが好調に推移
- 佐川急便株式会社と日本郵便株式会社との協業において、当第3四半期から新たなサービスの提供を一部地域で開始

ロジスティクス事業

- 世界的な海上コンテナ不足に対する解決の見通しが依然として立たず、海上・航空運賃が上昇を続けるなか、安定的にコンテナスペースを確保し、既存・新規顧客の旺盛な需要に対応
- GOAL[®]による包括的なソリューション営業により、3PL等の新規案件を受託

不動産事業

- 当連結会計年度では第4四半期に不動産売却を予定

その他の事業

- BPO取引が増加
- e-コレクト[®]が減少

注記 「e-コレクト[®]」はSGホールディングス社の登録商標

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	903	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	265	△ 365
フリー・キャッシュ・フロー ⁽²⁾	1,169	△ 193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,151	247
現金及び現金同等物の増減額	15	60
現金及び現金同等物の四半期末残高	702	752

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

■ 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 171億円
 主な内容： 税金等調整前四半期純利益 1,191億円
 減価償却費 224億円
 賞与引当金の増減額 (△は減少) △104億円
 投資有価証券売却損益 (△は益) △24億円
 売上債権の増減額 (△は増加) △906億円
 仕入債務の増減額 (△は減少) 128億円
 前払金の増減額 (△は増加) △37億円
 預り金の増減額 (△は減少) 166億円
 法人税等の支払額 △389億円
 未払費用の増減額 (△は減少) △20億円
 未払消費税等の増減額 (△は減少) △20億円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー △365億円
 主な内容： 有形固定資産の取得による支出 △470億円
 無形固定資産の取得による支出 △41億円
 投資有価証券の売却による収入 151億円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー 247億円
 主な内容： 短期借入金の純増減額 (△は減少) 553億円
 長期借入れによる収入 153億円
 長期借入金の返済による支出 △172億円
 配当金の支払額 △240億円

連結貸借対照表

(億円)	2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期	(億円)	2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期
流動資産	3,036	4,045	負債	3,854	4,509
現金及び預金	691	752	買掛債務	797	924
営業債権及び その他の債権	1,878	2,782	有利子負債	1,237	1,780
棚卸資産	307	285	その他	1,818	1,805
その他流動資産	158	226	純資産	4,048	4,755
固定資産	4,866	5,219	親会社株主帰属分	3,983	4,633
有形固定資産	3,528	3,867	非支配株主持分	65	122
のれん	40	44			
その他固定資産	1,297	1,307	負債純資産合計	7,902	9,265
資産合計	7,902	9,265			

注記 億円未満切り捨て

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

■ 自己資本比率

- 自己資本比率：50.0%（前期末差 △0.4ポイント）

1.	2022年3月期 第3四半期決算概要	1～9
2.	2022年3月期 業績予想	10～13
3.	参考資料	14～19

2022年3月期の取組み

2019年度～2021年度 中期経営計画 Second Stage 2021

<経営戦略>

- ① 物流ソリューションの進化
- ② 経営資源の価値最大化
- ③ デジタル化の推進と最新技術の導入
- ④ グローバル事業の拡大
- ⑤ 組織・人材の高度化
- ⑥ ガバナンス強化

2022年3月期の取組み

デリバリー事業

- GOAL@を中心としたTMS等のソリューション強化
- 適正運賃収受の取組みの継続
- Xフロンティアによるキャパシティ増加と輸送ネットワーク強化
- デジタル化による生産性向上と働き方改革の推進

ロジスティクス事業

- 海外3PLを含むサプライチェーン全体の機能強化・拡大
- グローバルフレイトフォワーディングのネットワーク拡大
- ジャパンレーンを中心とした越境EC等サービスの拡大

不動産事業

- 物流機能を強化する施設開発の推進
- 保有不動産の継続的な売却

その他の事業

- 物流附帯業務としてサービス品質の維持・向上
- 物流と連携した新たな機能・サービスの開発

連結業績予想及び配当予想について

(億円)		2021年3月期 実績	2022年3月期 前回業績予想 (2021年10月29日公表)	2022年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益		13,120	14,500	15,200	115.8%	104.8%
営業利益 (営業利益率)		1,017 (7.8%)	1,250 (8.6%)	1,390 (9.1%)	136.6%	111.2%
経常利益		1,036	1,270	1,410	136.0%	111.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益		743	850	960	129.1%	112.9%
EBITDA		1,281	1,550	1,690	131.9%	109.0%
1株当たり 配当金 ⁽²⁾	第2四半期末	18円	20円	20円	+11円	+5円
	期末	17円	21円	26円		
	合計	35円	41円	46円		

注記 (1)億円未満切り捨て(2)当社は、2020年11月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2021年3月期の1株当たり配当金は期前に当該株式分割が行われたと仮定した場合の金額を記載しています

■ 通期業績予想（前回予想との比較）

第3四半期の業績と足元の状況を踏まえ、通期業績予想を上方修正

- 営業収益： + 700億円
- 営業利益： + 140億円
- 経常利益： + 140億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： + 110億円
- EBITDA： + 140億円
- 想定平均単価 648円 ± 0円
- 想定取扱個数 14.1億個 ± 0億個

【参考】営業費用の前期増減内訳（前回予想差）

- 人件費 △ 23億円（+ 20億円）
- 外注費 + 1,766億円（+ 540億円）
- 減価償却費 + 39億円（± 0億円）
- その他（燃料費含む） △ 76億円（± 0億円）

セグメント別業績予想

(億円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 前回業績予想 (2021年10月29日公表)	2022年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益 合計	13,120	14,500	15,200	115.8%	104.8%
デリバリー事業	10,149	10,405	10,405	102.5%	100.0%
ロジスティクス事業	2,078	3,375	4,075	196.1%	120.7%
不動産事業	228	135	135	59.1%	100.0%
その他の事業	664	585	585	88.0%	100.0%
営業利益 合計	1,017	1,250	1,390	136.6%	111.2%
デリバリー事業	714	880	890	124.5%	101.1%
ロジスティクス事業	127	240	370	290.3%	154.2%
不動産事業	113	70	70	61.9%	100.0%
その他の事業	42	40	40	95.0%	100.0%
調整額	19	20	20	102.1%	100.0%

注記 億円未満切捨

Copyright © 2022 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

■ セグメント別前回予想差

・ 営業収益	+	700億円
デリバリー事業	±	0億円
ロジスティクス事業	+	700億円
不動産事業	±	0億円
その他の事業	±	0億円

・ 営業利益	+	140億円
デリバリー事業	+	10億円
ロジスティクス事業	+	130億円
不動産事業	±	0億円
その他の事業	±	0億円

・ デリバリー事業

第3四半期業績予想に対する実績の上振れを反映

・ ロジスティクス事業

海上コンテナ不足に伴う海上及び航空運賃高止まりの状況は、今期いっぱい継続すると想定

1.	2022年3月期 第3四半期決算概要	1～9
2.	2022年3月期 業績予想	10～13
3.	参考資料	14～19

連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
営業収益	3,475	109.4%	3,785	119.3%	4,405	126.9%
営業利益 (営業利益率)	289 (8.3%)	104.4%	299 (7.9%)	120.8%	559 (12.7%)	155.3%
経常利益	296	102.9%	292	121.8%	577	155.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	206	119.9%	191	95.5%	401	155.2%
EBITDA	361	106.3%	376	120.7%	638	150.1%

注記 億円未満切り捨て

セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
営業収益 合計	3,475	109.4%	3,785	119.3%	4,405	126.9%
デリバリー事業	2,543	104.6%	2,529	101.5%	2,830	103.2%
ロジスティクス事業	770	189.1%	1,082	219.9%	1,413	257.7%
不動産事業	19	11.5%	18	99.1%	18	94.4%
その他の事業	140	86.3%	154	91.3%	143	88.9%
営業利益 合計	289	104.4%	299	120.8%	559	155.3%
デリバリー事業	202	129.4%	177	98.4%	366	124.1%
ロジスティクス事業	57	280.1%	90	209.3%	163	441.6%
不動産事業	14	16.7%	10	99.2%	9	81.5%
その他の事業	9	101.5%	15	154.1%	10	112.5%
調整額	6	88.8%	5	163.0%	9	137.4%

注記 億円未満切り捨て

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
取扱個数 ⁽¹⁾ 合計	347	101.5%	343	99.9%	383	101.8%	1,074	101.1%
飛脚宅配便 ⁽²⁾⁽⁴⁾	333	101.4%	330	100.0%	369	102.0%	1,032	101.2%
その他 ⁽³⁾	13	105.9%	13	96.0%	14	95.8%	41	99.0%
平均単価	645	101.8%	648	100.7%	649	99.8%	647	100.7%

e-コレクト[®]個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
個数	19	87.4%	17	78.9%	18	81.9%	56	82.7%
決済金額	2,274	92.2%	2,084	82.1%	2,306	84.4%	6,664	86.1%

IMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比	22年3月期	前年同期比
売上高	249	117.6%	270	115.5%	276	111.7%	796	114.8%

注記 (1)億円未満切り捨て。(2)飛脚宅配便[®]は、佐川急便が国土交通省に届け出ている宅配便の個数。(3)その他は、飛脚ラージサイズ宅配便[®]及びその他の会社の取扱個数
(4)「飛脚宅配便[®]」、「飛脚ラージサイズ宅配便[®]」はSGホールディングス社の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	第1 四半期		第2 四半期		第3 四半期		第3 四半期累計	
	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比
営業費用 合計	3,186	109.9%	3,485	119.2%	3,846	123.6%	10,518	117.7%
人件費	1,093	99.7%	1,114	101.9%	1,137	103.0%	3,345	101.5%
外注費(備車費含む)	1,656	127.4%	1,909	138.4%	2,244	144.3%	5,810	137.2%
燃料費	26	129.2%	31	123.5%	32	133.9%	90	128.7%
減価償却費	72	115.2%	74	116.3%	77	120.4%	224	117.3%
その他経費	337	80.5%	355	98.5%	353	97.5%	1,046	91.6%

デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1 四半期		第2 四半期		第3 四半期		第3 四半期累計	
	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比	22年3月期	前期比
営業費用 合計	2,453	103.0%	2,467	102.1%	2,580	100.8%	7,500	101.9%
人件費	939	97.4%	955	99.9%	955	99.9%	2,850	99.1%
外注費(備車費含む)	1,178	107.3%	1,169	103.6%	1,272	101.2%	3,620	103.9%
燃料費	26	129.2%	31	124.0%	31	134.0%	89	128.9%
減価償却費	51	116.5%	53	119.0%	53	120.1%	158	118.5%
その他経費	257	101.6%	258	98.3%	266	96.0%	782	98.5%

注記 億円未満切り捨て

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、店)		2021年3月期末	2022年3月期 第3四半期末
連結従業員数	合計	97,774	97,148
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(45,753)	(44,612)
デリバリー事業		79,902 (36,839)	78,660 (35,238)
ロジスティクス事業		13,172 (6,886)	13,461 (6,998)
不動産事業		63 (-)	70 (-)
その他の事業		3,888 (1,801)	4,207 (2,163)
全社(共通)		749 (227)	750 (213)
佐川急便	車両台数	26,673	27,392
	主な拠点数	864	875
	中継センター	23	23
	営業所	428	429
	小規模店舗 ⁽²⁾	413	423

注記 (1)期中の平均人数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、開日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておりません、また、これを保証するものではありません。